

今週（4月13日から4月17日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズが旺盛な中、出合いの中心は0.72%台と特段の変化なく推移した。

ターム物はショートターム物を中心に、0.8~0.9%程度で出合いが見られたほか、週の中頃から、4月の日銀決定会合での利上げ観測の後退が見られたことで、一部の調達サイドからはレートを引き下げる動きが見られた。

日銀当座預金残高は456兆円程度からスタートし、15日の年金定時払いにより大幅増加となり、466兆円程度での着地となる見込み。

●債券レポ市場

今週の債券レポ市場 GC T/N物の出合い水準は、概ね0.755%前後での推移となった。

SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーンでレートが下落した。

16日実施の1Y物、17日実施の3M物入札はいずれも強めの結果となり、セカンダリーも総じて堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、電気機器、不動産、小売業など、複数の業態で大型発行が行われた。

市場残高は、週初22兆円台前半からスタートし、週後半には23兆円近くまで積みあがった。

発行レートは、0.75%以上で推移し、銘柄や投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
4/13 (月)	56,502.77	2.465	159.85	0.726	0.754	4,556,800
4/14 (火)	57,877.39	2.415	159.21	0.726	0.754	4,557,000
4/15 (水)	58,134.24	2.405	158.87	0.727	0.753	4,628,200
4/16 (木)	59,518.34	2.400	158.76	0.727	0.754	4,650,400
4/17 (金)	58,475.90	2.420	159.50	0.728	0.755	4,657,600

翌週（4月20日から4月24日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
4/20 (月)	2月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)				10-12月期のユーロ圏GDP最終確定値
4/21 (火)			流動性供給 4/22発行 2,500億円		3月の米小売売上高 2月の米企業在庫
4/22 (水)	3月の貿易統計(財務省 8:50) 2月のサービス産業動態統計調査(経済産業省 13:30)				3月の英消費者物価指数
4/23 (木)				交付税借入 5/7借入 9,000億円	
4/24 (金)	3月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 3月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	TDB3M 4/27発行 46,000億円			

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
4/20 (月) 日銀予想	▲ 300	▲ 6,900	▲ 7,200	国債補完 社債等買入	2,800 ▲ 100		2,700	▲ 4,500	TB3M発行▲46,000 償還47,000 TB1Y発行▲30,000 償還32,000 エネルギー対策借入▲8,234 期日8,192
4/21 (火) 弊社予想	▲ 1,000	2,000	1,000				0	1,000	
4/22 (水) 弊社予想	0	▲ 2,500	▲ 2,500				0	▲ 2,500	流動性供給▲2,500
4/23 (木) 弊社予想	▲ 1,000	6,000	5,000				0	5,000	
4/24 (金) 弊社予想	▲ 1,500	22,500	21,000				0	21,000	交付税借入▲13,000 期日13,000

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き堅調な資金調達ニーズが見込まれ、0.725~0.728%程度の出合いが中心と予想される。ターム物については、引き続き中東情勢が不透明な中、4月会合の利上げ観測次第で上下に振れる展開が予想される。債券レポ GC T/N物のレートは、0.73~0.76%のレンジで推移することが予想される。短国市場は、24日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、22日(水)に五・十日の前倒し発行が予定されており、動向が注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では20日(月)に2月の第3次産業活動指数、22日(水)に3月の貿易統計、2月のサービス産業動態統計調査、24日(金)に3月の全国消費者物価指数(CPI)、3月の企業向けサービス価格指数などが公表予定である。海外では20日(月)にユーロ圏で10-12月期のユーロ圏GDP最終確定値、21日(火)に3月の米小売売上高、2月の米企業在庫、22日(水)に英国で3月の英消費者物価指数などが公表予定である。
(※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。)

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。